

平成 29 年度 就学前人権教育研究協議会 C（実践発表） 実施要項
－子どもを中心にした、人権尊重の就学前教育をめざして－

1 目 的 人権教育の観点に立った幼稚園・保育所の子どもを中心にした取組みの実践発表、協議等を通じて、その在り方と指導スキルの向上についての研修を実施する。

2 対 象 者 公立及び私立の幼稚園・認定こども園の園長及び教員

募集人数 150 名

3 研修内容等

回	日 時	研修内容〔実践発表・研究協議〕	講 師 等
1	2月5日（月） 14:00～17:00	〔第1分科会：障がい理解〕 「ともだちだいすき！ようちえんたのしいな！」	発表：貝塚市立西幼稚園 教諭 渡部 妙子 助言：高槻市立芝生幼稚園 園長 山中 正子
		〔第2分科会：保幼小連携〕 「グループ活動での育ちを未来へつなげていくために」	発表：学校法人春緒野学園 東豊中幼稚園 教諭 瀬戸口 優子 教諭 藤本 真知子 助言：大阪教育大学 准教授 中橋 美穂
		〔第3分科会：子育て支援〕 「マイナス1歳からの子育て支援」 ー子育てで孤立しない、させない、どこかでつながる子育てー	発表：富田林市立金剛東保育園 園長 重野 文子 富田林市立若葉保育園 園長 辻野 由貴子 助言：常磐会短期大学 教授 卜田 真一郎

4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m 近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m
--

5 担 当 室 人権教育研究室

- 6 そ の 他
- (1) 受付は30分前から
 - (2) 印鑑を持参すること
 - (3) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること
 - (4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと
 - (5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと

個別募集

平成 29 年度 研修のシラバス

1. 研修名	<p>就学前人権教育研究協議会 C（実践発表） ー子どもを中心にした、人権尊重の就学前教育をめざしてー （研修番号 5199）</p>
2. 研修のねらい	<p>人権教育の観点に立った幼稚園・保育所の子どもを中心にした取組みの実践発表、協議等を通じて、その在り方と指導スキルの向上についての研修を実施する。</p> <p>目 標</p> <p>① 人権が尊重された就学前教育の在り方について理解する。 ② 人権教育の推進体制や地域・保護者・関係機関等との連携の在り方について、認識を深める。 ③ 人権教育の効果的な指導方法等について認識を深め、人権教育の取組みについての展望を持つ。</p> <p style="text-align: center;">「OSAKA 教職スタンダード」該当項目：第 1・2 期 1・9・11・13・15</p>

3. 研修課題とねらい等

回	研修テーマ	内 容	準備物・事前課題
1	<p>第 1 分科会 ともだちだいすき！ようちえんたのしいな！</p>	<p>友だちのことが好きで関わりたい気持ちが強いのに、距離感がわからなかったり、気持ちをうまく表現できなかつたりする子どもたちがいます。子どもや保護者の気持ちに寄り添い、日常の遊びや運動会を通して友だちとつながることで、少しずつ気持ちを表現し始め、幼稚園が安心できる場所になっていった過程を報告します。</p>	
	<p>第 2 分科会 グループ活動での育ちを未来へつなげていくために</p>	<p>園で取り組んでいるグループ活動の中で、子どもが自分たちで考え決める経験が、他校園との交流や学校生活を過ごしていく上で必要な、人と関わる力や自信を持って挑戦していく力の礎となります。子どもたちの姿と一人ひとりの心の動きを受け止めながら関わる保育者の取り組みを報告します。</p>	
	<p>第 3 分科会 マイナス 1 歳からの子育て支援 ー子育てで孤立しない、させない、どこかでつながる子育てー</p>	<p>市域を 4 ブロックに分割し、保、幼、つどいの広場、民生・児童委員、保健センター、CSW 等が集まり、情報共有、地域課題の協議を行うネットワークの構築を行いました。ブロック内の未就園児（0～2 歳児）と妊婦のいる家庭を子育て支援担当保育士が定期的に全戸訪問を行うなど、家庭訪問を中心とした地域支援事業を報告します。</p>	